

(参考)

HIV/エイズの基礎知識

◆ エイズとは？

① エイズ (AIDS=**A**cquired **I**mmuno-**d**eficiency **S**yndrome) は、日本語にすると「後天性免疫不全症候群」という病気の名前です。この病気は HIV というウイルスに感染することにより引き起こされます。発症するまで数年から 10 年以上と潜伏期間が長いことが特徴です。HIV に感染してもエイズを発症するまでは自覚症状がほとんど無く、HIV 検査を受けなければ感染しているかどうかわかりません。

② HIV の感染経路は限られているので感染を予防することができます。

感染経路 ○性行為による感染

○血液を介しての感染 (注射器具の共用など)

○お母さんから赤ちゃんへの母子感染

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ 予防することで HIV 感染が防げること。
- ・ 予防のためには、感染経路についてきちんと理解すること。予防のためにはどのような行動が大切かを理解すること。
- ・ 自分のこととして、また大切な相手のこととして、この病気を考えることが予防につながる。

◆ 世界と日本のエイズ

① 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の発表によると、現在全世界で 3,340 万人が HIV に感染しながら生きています。平成 20 年は 1 年間で新たに 270 万人が HIV に感染し、200 万人がエイズで死亡しています。

② 日本では昨年 (平成 21 年) 1 年間で新規 HIV 感染者・エイズ患者として報告された人の数が 1,452 人と 6 年連続で 1,000 人を超えています。

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ HIV 感染が身近な問題であること(世界でも日本でも)
- ・ 日本でも、1 日あたり約 4 人が新たに感染していること

(参考)

◆ 検査と治療について

- ① 検査：HIV 検査は全国の保健所等で「無料・匿名（名前を言わずに）」で受けることができます。
- ② 治療：現在、HIV を身体から無くしてしまう治療法はありませんが、さまざまな治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズの発症を抑えることが可能になっています。早期発見による早期治療が重要となっています。

*ポイント（伝えたいメッセージ）

- ・検査を受けることは、自分のためにも、相手のためにも大切なこと。身体の状態を知ることは、自分をケアしていること。
- ・万が一、感染しても、早期にわかれば色々な治療方法が可能になる。仕事も勉強も続けることができる。また、さまざまな専門家や NGO が支えてくれ、一緒にエイズと向き合ってくれる。一人ではない。
- ・でも、私たちの心に、「エイズは怖い」という気持ちが強く、HIV 感染者への差別・偏見はまだ生きている。感染者・患者も周囲からの偏見・差別が恐く、なかなかまわりに本当のことを告げることができない。

◆ 世界エイズデーとレッドリボンについて

- ① 世界エイズデー：世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日が“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。
- ② レッドリボン：“レッドリボン（赤いリボン）”は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。
このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えましょう。